

<http://kinkifukusha.jp>

複写 NEWS No.243

本紙は組合員様に組合活動を出るだけ詳しくお知らせし、よりご理解をしていただく目的でお届けしています。是非ともお読みください。

発行:近畿複写産業協同組合
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋1丁目5-6
TEL06-6201-4766・FAX06-6201-4768
発行責任:楠本雅一
監修責任:桑田鞆比古
編集制作:小野恵美子
問い合わせ:knk-fuku@kinkifukusha.jp

近畿複写産業協同組合 近未来への挑戦と実現

2013・2014年度運営方針

2013年5月29日に近畿複写産業協同組合第50期通常総会が行われました。本総会におきまして理事の改選が行われ、定款に則って理事が選任されました。私は選任された理事の互選により理事長の御推挙をいただきました。微力ではございますが、組合五十年の歴史をさらに積み重ねるべく理事長を謹んでお受けさせていただきました。誠心誠意最善を尽くす所存でございます。組合員様・賛助会員様の御指導・御協力・御支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



今期の理事体制は前期と基本的には変わりません。しかし残念なことです、長きにわたって組合運営に御協力をいただいた松本理事が退任されました。松本理事は半世紀有余業界にあって、組合活動のみならず広く業界融和の活動に心魂を傾けていただきました。あらためて本誌をお借りして、永年の御苦勞と御尽力に衷心より感謝の意を表するものであります。

総会の当日は夕刻より組合創設50周年記念行事「感謝の集い」も開催されました。御参加いただきました多くの組合員様・賛助会員様、また残念ながら当日所用ゆえに欠席の已む無き方々、組合誕生から本日までの50年を支えて下さったこと、深甚なる謝意を表するものであります。あらためて心から感謝を申し上げます。

今回は複写連関係の全国の仲間にも参加いただきました。一様に声を合わせておっしゃられることは、組合員様・賛助会員様の参加の多さと、参加率の高さでした。もちろん場を華やかに演出してくれた業界の仲間とバンドの皆様方への賛辞は言うまでもありません。そして理事各位は、裏方として、目に見えない持ち場をもしっかりと努め、その職責と役割を果たしてくれました。理事ならびに事務局の能力の高さとチームワークの良さに、全国の感心の声がさまざまな方向から聴こえたことを、少し自慢げで恐縮ですが御報告をさせていただきます。

そのような優秀で心濃やかな理事・事務局に囲まれて、助けられて、理事長として2期目の近畿複写産業協同組合のマネジメントを託されました。

皆様方のお陰をもち晴れやかに式典を無事終えました。しかし、その余韻に浸っている間はありません。その評価は式典そのものの出来栄にあるのではなく、50年という節目から次の節目へといかにこの私達の業界を発展させていくのか、その出来栄に存するものと心得ています。そのために、一日も

早く組合事業を推進しなければなりません。

青写真を源流とし、複写業へと進化して今があります。業界は進化の節目にあり、未来地図の描き方とその歩みによって運命は決定されます。

「POD 市場の創造と拡大—そして、顧客の創造」複写業界の次なる一手は、「POD 市場の創造と拡大」を手段として、複写業へと進化した歴史に育て蓄積してきた業界・企業価値を広く多くの顧客に提供していくことです。その目的は「顧客の創造」です。

「POD 市場の創造と拡大—そして、顧客の創造」を、理事長二期目の 2013 年度・2014 年度の組合事業の柱とし業界進化の基本戦略とします。そして、全国組織の複写連と地域組合との役割分担を明確にして、より密な連携のもと、組合員様に一日も早く成果として結実するように下記の活動をします。

組合事業

1. **会員交流事業の推進**（ボーリング大会・ゴルフコンペ・新年互礼会・総会懇親会など）
⇒組合員・賛助会員相互の互恵的関係を創造するための交流事業の推進
2. **広報事業の推進**（組合員広報誌の充実・Web コンテンツの更新・50周年記念誌制作など）
⇒組合情報の記録・整理・発信のための広報事業の推進
3. **教育事業の推進**（組合未来戦略に基づき賛助会員様と共に教育セミナーなどを実施する）
⇒組合員の経営力向上のために、一貫した学習会・情報交流会を企画運営する教育事業の推進
4. **官公需事業の推進**（官公需事業の情報収集と推進）
⇒組合員相互の利益に基づく近隣自治体の官公需事業の受託推進
5. **次世代組織構築事業の推進**（組合未来戦略に基づき次世代が参加する組織を育てる）
⇒業界未来力の指標は次世代を構成する若い力の総和であり、それらを育てる事業を推進する

委員会組織（別紙参照）

上記の事業を理事が主体的に取り組み推進するために、上記に関係する**5つの委員会組織**をつくりました。

私達理事一同は、厳しい経営環境のなか組合運営をお預かりしています。組合経営を出来る限り支障なく運営するため、経営に係る衆知を集める委員会として「**経営委員会**」を設置いたしました。基本は四半期ごとに経営指標を監視・分析し、適切な早期の対応を行うとともに、組合経営において突発的な事態が発生した時には理事長が緊急招集をして即時対応をします。

従来「**三役会**」の役割は、通常組合運営の諸問題や事業進捗状況の確認などに関わる協議を随時程度行います。

また、私達の組合の事務局は非常に強力ですが、その事務局を指導・支援することを主とする「**総務委員会**」もつくりました。その委員会の担当理事は事業委員会とは離れて事務局の立場で組合運営を支援します。広報関係、記念誌関係の情報整理・取りまとめは当委員会の担当です。

さらに総務委員会には重要な仕事があります。組合50年の歴史のなかで文書化されたルールが多くあります。そのほかに明文化されていない暗黙的ルールも存在します。そこで私の任期中に、組合の今後の公正な運営のために諸規定の見直しと再定義化を実施します。この作業も当委員会の仕事としていきます。

組合には、以上の5つの事業推進委員会と2つの運営支援委員会があります。月に一度開催される「**理事会**」において活動全体を協議し運営と事業は行われます。もちろん困った時には「**相談役**」に登場していただき、年度の締めくくりには「**監事**」に全てを公開し説明して評価をいただきます。それらのほ

ばすべてに「組合事務局」がかかわり、多忙な理事に代わって事務的な業務をすべてやってくれます。

そして、上記の組織に支えられた事業の推進に関しては「理事ネットワーク」を準備しています。理事が数社の組合員様を担当して、電話等で直接事業説明や参加を促すための連携強化の施策です。事務局からの事業へのお誘いはいつもあると思いますが、理事にもそれを手伝っていただくという考えであり、理事各位には非常に積極的に御協力をいただきました。その成果ははっきりと表れているように感じています。「理事ネットワーク」こそ、**組合事業推進の要**といえます。

近畿複写産業協同組合の近未来

以上、簡単に事業と組織について説明をしました。あえて従来の組織形態についての言及は行いませんでした。しかし本案の底流には従来型の委員会組織の良きところは踏襲したうえで、委員会組織の再構成を行ったことを附言しておきます。

私にとりまして理事長1期目は冒険的手法にて突入しました。福味・桑田両副理事長を伴っての全組合員様訪問と賛助会員様訪問です。その経験による施策が「教育事業」と「理事ネットワーク」でした。前者は2012年度事業において積極的展開を目論見ました。もちろん教育事業は組合事業の根幹と考えていますので、継続的に発展させる手法も考慮しながら今期は前期に比べてさらに強力で推進します。また、組合員様や賛助会員様の御参加をより促進するため、あるいは組合員相互の連携、組合員と賛助会員との連携などを背後から支える施策として理事ネットワーク構想を掲げました。前期においては想定通りの成果を上げましたが、今期はさらに参加者を増やし、互恵的組織としての協同組合の価値を向上させる仕組みとしてより活性化させたいと考えています。

2013年度・2014年度の施策の基本は、「近畿複写産業協同組合、近未来への挑戦と実現」です。

1. POD事業を推進し、多様な顧客に価値が提供できる企業の集合体としての協同組合
2. 組合員・賛助会員・理事・事務局が目的達成のため一丸となって活動をする協同組合
3. イノベーションを業界の常態とするため、学習文化を育てる協同組合
4. 次世代を育て、次世代が積極的に参画することができる協同組合
5. 相互理解・互譲互恵の精神を基本とする協同組合

私は、近畿複写産業協同組合の近未来の姿に夢を託して、もう一期理事長を務めさせていただきます。本誌では十分に説明を尽くせないところが多々あります。理解に不足があれば参上のうえ叙説させていただくとともに、有難く御指導をお受けいたします。

遠慮なくお申し出くださりますようお願いいたします。

組合50年。さらなる継続と進化は、近畿複写産業協同組合有縁の方々の御力あつてのことです。引き続き御支援と御協力を何卒よろしく願いいたします。

近畿複写産業協同組合
理事長 楠本雅一

第51・52期 近畿複写産業協同組合 役員一同（順不同）

理事長	楠本 雅一	副理事長	福味 正俊	副理事長	桑田 靱比古	副理事長	巽 充雄
専務理事	満田 創	理事	山脇 雅則	理事	河村 武敏	理事	日笠 宏昭
理事	藤田 知子	理事	佐々木洋之	理事	関 雅夫	理事	田中 義雄
監事	浅見 善和	監事	田畑 保英				

第51・52期 役員一同より一言



賛助会員様に感謝。

今期もよろしくお願
い致します。

副理事長 福味 正俊



今年、【近畿複写産業協同組
合】は設立50周年と大きな節目
を迎えました。

激動の時代、変化の速い時代、
グローバル化が進む時代に私達業
界のコア業務も大きく変わって来
ました。またお客様の要求レベル
は更に高くなって来ています。

そのような時代に企業として
【勝ち残る】には各社の知恵の結
集こそ重要と思います。

今こそ業界の経験、知恵、技術
を共有する事が不可欠と考えます。
そして組合は賛助会員様の支援、
協力、指導の窓口とし共に成長を
支える役割が有ると思います。

役員の一員として会員会社様に
何かお役に立てばと念じる次第で
す。

専務理事 満田 創



51・52期も前期同様
に副理事長を務めて参り
ます。また引き続き、
複写ニュースの編集も続
投して参ります。日笠理
事、関理事、組合小野さ
ん共々よろしくお願
い申し上げます。複写ニ
ュースでは、組合員の皆
様方にもご参加頂けるよ
うな「誌面作り」を・・と
、思っています。

副理事長 桑田 鞆比古



楠本理事長の下、微力で
はございますが与えられ
た職責を全力で努めたい
と思います。組合員皆様
のご指導・ご協力をよろ
しくお願
い致します。

副理事長 巽 充雄



先日の50周年感謝の集い
を経て、51年目を踏み出
して
います。

先期から実践している教育
について、今期は継続で
きる仕組みの構築が重要
と
思っています。

組合員各位の積極的な参
加
を、心よりお待ちしております。

理事 河村 武敏



変化の激しい時代ですが、
少しでも速く業界の成長分
野への挑戦を見極めてい
くべく、理事一同で努力す
べきだと考えています。

理事 山脇 雅則



微力ではございますが、お役に立てるよう頑張ります。よろしく申し上げます。
理事 日笠 宏昭



お役に立てるかわかりませんが、組合員の皆様が、色々な事業活動へ ご参加頂き、楽しいなと思っ
 て頂けるような、組合にしていきたいです。

理事 藤田 知子



役員を仰せつかりましたコーセイプロス田中です。若輩者ですが、自身
 のできることを組合活動に貢献したいと思
 います。1期2年よろしくお願
 い申し上げます。
理事 田中 義雄



皆様のご指導を頂きながら、今期も監事を務めさせて頂
 きます。**監事 浅見 善和**



お互いに切磋琢磨して有意義な組合にしまし
 ょう。**監事 田畑 保英**



理事に再任されました。微力ですが楠本理事長を支えるべく最善を
 尽くします。奇しくも組合創設50年の場に立ち会いました。当組合の歴史の厚
 みに感慨を覚えるものであります。諸先輩方とも久方にお目にかかり、
 懐かしさとともに、相変わらずのお元気に嬉しく感じました。改めて業界を育
 てて下さった諸先輩方に感謝する次第です。そして理事長含め私もまもなくそ
 のような年齢となります。次代の人たちを育てる事を急が
 されます。今期も組合諸事業の御支援と御協力をよろしくお願
 いいたします。
理事 佐々木 洋之



今年度理事を務めます。関 雅夫で
 ございます。どうぞよろしくお願
 い致します。

理事 関 雅夫

コニカミノルタからセミナーのご案内



コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社
取締役関西支社長 深澤哲也



<Konicaminolta PRESS C7000>

製版から印刷までのプロセスに。ワンストップでお応
えします。

コニカミノルタは、「新しい価値の創造」という経営理念のもと、「イメージングの領域で感動創造を与え続ける革新的な企業」「高度な技術と信頼で市場をリードするグローバル企業」を目指した事業活動を展開してまいりました。

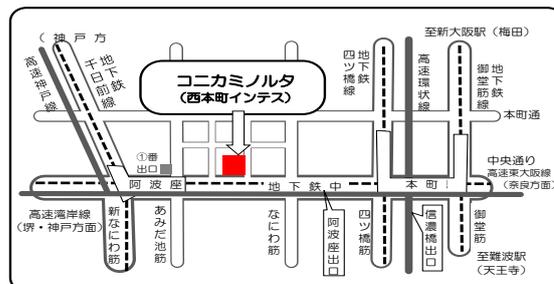
複合機(MFP)はもとより、光ディスク用ピックアップレンズなど光学事業、液晶パネルの基幹部材であるTACフィルムなど機能材料事業、さらにデジタル X 線画像診断システムを有するヘルスケア事業、独自の光センシング技術で様々な産業に貢献する計測機器事業などで、「材料」「光学」「微細加工」「画像」という4つのコア技術を融合させたさまざまな製品群と、質の高いサービス・ソリューションを提供しております。

私たちコニカミノルタビジネスソリューションズは、「新しい価値の創造」を経営理念とするコニカミノルタグループ企業の中でデジタル複合機やプリンターなどの情報機器および関連ソリューションをお客様に提供する国内の販売会社です。

今後の市場拡大が期待されるオンデマンドプリント分野に向けては、デジタル印刷システム「bizhub PRESS(ビズハブプレス)」シリーズをご用意し、業界トップレベルの高画質と高速出力でプロフェッショナル軽印刷や企業内印刷分野での生産性と創造性の向上に大きく貢献しています。

コニカミノルタが「オンデマンドプリンタを活用した増販増客セミナー」を開催させていただきます。

2013年7月30日(火)受付13:00～ 場所:西本町インテスビル



ご多忙とは存じますが、ぜひこの機会にご参加いただきますようお願い申し上げます。
皆様の来場をこころよりお待ちしております。詳細は 別紙 ご案内状をご覧ください。

近畿複写産業協同組合 様



拝啓

貴組合ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、昨今の社会を取り巻く環境は、景気の回復が語られるものの、実際の各企業は厳しさの増す競争に対応するべく、更なる「コスト削減」「業務の効率化」などの新たな業務改革に取り組んでいます。
このような環境のもと、さらに資源の有効利用や地球温暖化抑止のための省資源・省エネルギーへの取り組みも大きな課題となっております。

また昨今では、電子ペーパー世界市場規模は、メインアプリケーションである電子書籍端末／電子ビューワー市場が立ち上がったことで需要が増加し、また電子書籍端末として使用可能なiPadが発売されたことで市場が活性化し、更に電子化が拡大しております。

それにより個人の情報管理や、業務における環境活動への取り組みなどビジネスシーンが大きく様変わりして参りました。

新たなIT環境の中で新たな道具をどう使っていくのか、リコーグループでは社内で実践して行く過程で培った知識とノウハウを基にお客様視点に立った最適な解決策をご提案し、お客様のその先のお客様にも届く価値を創出することで、貴組合員様の価値向上を目指していく所存であります。

今回も貴組合様に対しビジネスベーシック研修と称し社員様向けの教育プランを提供し、貴組合様と共に栄えることにより信頼あるパートナーとして、末永いお付き合いをさせて頂きたく心よりお願い申し上げます。

敬具

関西営業本部 BP事業センター
センター長 山村 忠

日本複写産業様向けビジネスベーシック研修のご紹介

研修目的

社員の顧客接点力強化と営業生産性の強化

- ・お客様から良い印象が得られる基本的なビジネスマナーの習得
- ・取引の無い部門の担当者と接点確保を図り、自社を正しく認識していただく営業スキル

目指す姿

- ・お取引先担当としての身だしなみと基本動作が出来るようになる。
- ・目標と方針の定義を知り、仕事の進め方(PDCA)を学ぶ。
- ・自社の事業領域と強みが、ツールを使って説明できる。

■研修要件 対象 : 入社1年目から中堅社員 最低実施人数12名
講師 : リコージャパン(株) 関西営業本部
事業戦略センター 人材開発グループ
研修構成: [連続2日間/9:30~17:00]
平成25年8月23・24日

■会場 リコージャパン株式会社 本町橋事業所 6F研修室
〒540-0029 大阪府中央区本町橋1-5
研修事務局 TEL(06)6940-3219

リコージャパン株式会社

〒540-0029
大阪府中央区本町橋1-5 本町橋タワー

- 地下鉄
谷町線 谷町四丁目駅 ④番出口より徒歩9分
中央線 堺筋本町駅 ②番出口より徒歩8分
堺筋線 堺筋本町駅 ⑩番出口より徒歩8分

松本文生理事退任ご挨拶

私儀、この度、近畿複写産業協同組合第50期通常総会において、役員任期満了により理事を退任いたしました。

組合も今年50年を迎え、5月29日には創立50周年「感謝の集い」を盛大に行なわれました。私もこの複写業界にお世話になって、50年になり、組合と一緒に歩ませて頂いたように思います。

最後のご奉公に10数年役員をさせて頂きましたが、50期は役員改選また、50周年という節目の年であります、時期に投じて若い役員の方々に今後を託し、役員を退任させて頂きました。

在任中は、公私にわたり、格別のご支援ご厚情を賜りまして、誠に有難うございました。

最後に、近畿複写産業協同組合の益々の発展と皆様方のご多幸を祈念いたしまして、退任の挨拶をさせて頂きます。

有難うございました。

近畿複写産業協同組合 理事
マルワ写真工業株式会社
松本 文生

編集後記

新しい期に入っの第一報をお届け致します。前期と同じ顔ぶれではありますが、心新たに組合運営に臨んで参ります。その心意気、篤と「役員一言」にてご確認下さい。この二年間よろしくお願い致します。

(記・桑田)

いよいよ、今月より、今年度 教育事業がスタート致します。社会に出るとなかなか学ぶ機会がなく自己啓発に乏しくなりがちです。ぜひ この機会に数時間の学びではありますが、チャンスを活かして頂ければと思います。輝いた目の組合員様にお会いできるのを楽しみにしております。(記・小野)

半世紀で加入企業100万社以上の実績！

退職金は、国がサポートする **中退共制度** をご活用ください。

国の制度だから

安心

国から掛金の助成を受けられます

社外積立だから

簡単

従業員ごとの納付状況や退職金試算額をお知らせします

掛金は全額非課税だから

有利

節税に加え、手数料もかかりません

加入範囲、
広がっています！

事業主と生計を一にする同居の親族のみを雇用する事業所の従業員も、一定の要件を満たしていれば加入できます。

詳しくは ▶ **中退共** 検索

